02

咀嚼が難しい理由

うちの子噛まない！
どうやって噛むことを
教えていったらいいかわからない！

食べる機能の発達は、大人から教えて獲得するものではない。赤ちゃん自ら感じて、動いて、失敗、成功して発達していくもの。この発達を促す**環境**を作ってあげることが大切。

目の前の我が子の発達に合わせよう！

こんな離乳食の進め方していませんか？

・〇カ月になったから～

・離乳食本に書いてあるから～

月齢で離乳食を進めていませんか？

食べるための体の発達＝食形態

（食べるための体の発達ができていないと、その食形態を口の中で処理することはできない）

親のペースになっていませんか？

・焦って食べる

・時間に余裕がない

・リラックスできない→食欲が湧かない

一緒に食卓を囲むことを
心がけましょう

・子どもは周囲の様子を観察している

・楽しく食べる→リラックス→食欲も湧く

歯のトラブルはありませんか？

・虫歯の痛みで噛めないこともある

・不正咬合は間違った食べ方に繋がりやすくなる

人間の歴史を見ていくと…
顎に変化が！

食べる物・環境の変化が大きな要因

・下顎の縮小傾向が強い

・歯科疾患 が急増

下顎が小さい

→**大きな永久歯が生えてくる**

→**アンバランスが起こる**

出典：歴史時代における日本人の顎顔面形態の推移
人類における歯と顎骨の不調和